

報 告

(3) 安城市新水道ビジョンの進捗 について



安城市新水道ビジョン

計画期間：

2018年度（平成30年度）～2027年度（令和9年度）

2023年度（令和5年度）～2027年度（令和9年度）見直し後

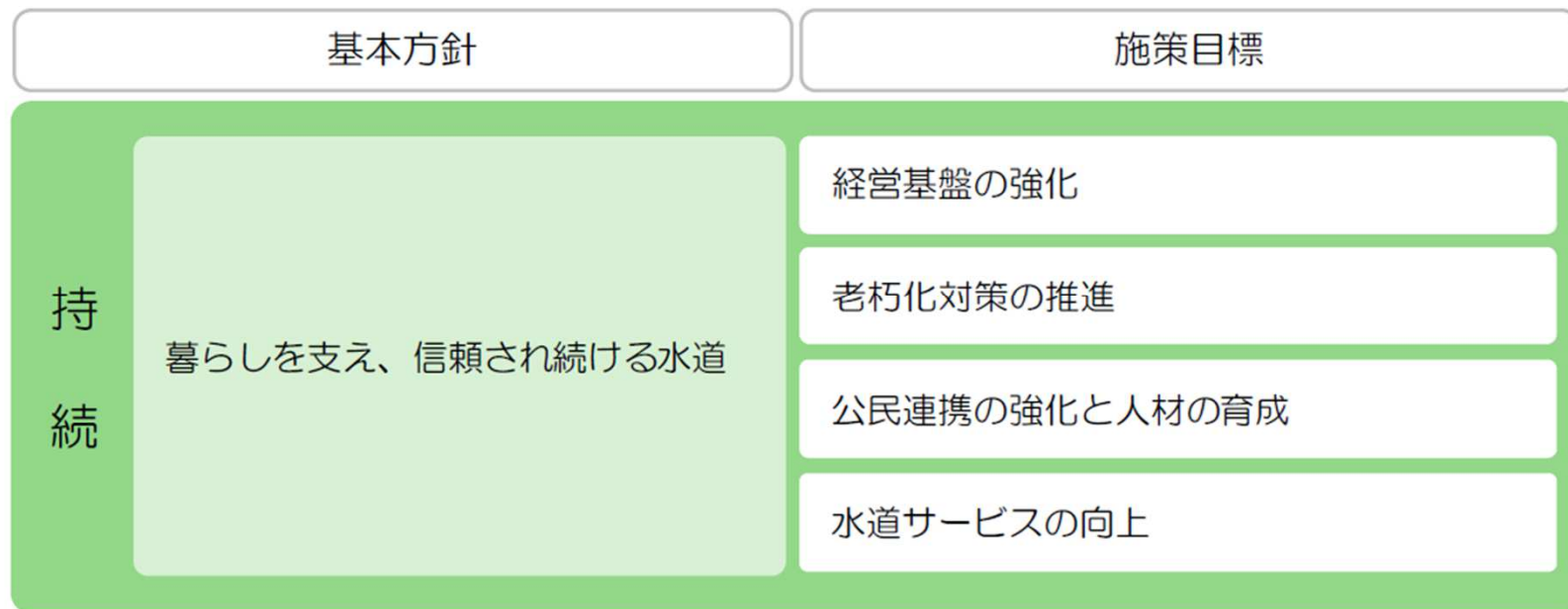


基本理念

「未来につづく安全・安心な水をめざして
～健やかで幸せな生活をささえ続ける安城の水～」
を踏まえた基本方針

基本方針

- ・ **持続**：暮らしを支え、信頼され続ける水道
- ・ **安全**：安全で安心して使える水道
- ・ **強靱**：災害に強く、安定供給ができる水道



1) 施策目標：経営基盤の強化

上段：同規模全国平均

中段：愛知県平均

下段：安城市水道事業

業務指標	H 3 0 実績	R1実績	R2実績	R3実績	中間R4 目標値	R4実績	R5実績	R6実績	目標(R9)
有効率(B111)	98.0%	97.9%	98.8%	99.1%	98.0%	92.5% 96.2% 99.8%	99.9%	99.6%	98.0%
経常収支比率(C102)	119.9%	116.9%	116.6%	115.2%	117.5%	111.7%	111.7%	113.5%	115.0%
料金回収率(C113)	116.1%	112.6%	99.7%	112.1%	110.0%	97.6% 94.2% 83.3%	107.0%	110.0%	105.0%

有効率（B111）とは、年間どの程度有効配水量に対する漏水量等を除いた有効水量の割合で、水道施設を通して給水される水量がに使われているのかを示し、100%に近いほど良い指標。

経常収支比率（C102）とは、経常費用（人件費や電力料など事業運営に不可欠な費用）に対する経常収益（水道料金収益）の割合を表す指標。100%以上であることが望ましく、100%未満の場合は経常損失が生じていることを示す。

料金回収率（C113）とは、給水原価（水道水として給水するための単価）に対する供給単価（水道料金単価）の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。100%を下回っている場合、給水にかかる費用が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。



2) 施策目標：老朽化対策の推進

上段：全国平均

中段：愛知県平均

下段：安城市水道事業

業務指標	H 3 0 実績	R1実績	R2実績	R3実績	中間R4 目標値	R4実績	R5実績	R6実績	目標(R9)
漏水率(B110)	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
法定耐用年数超過設備率(B502)	36.0%	29.0%	33.1%	34.5%	46.6%以下	49.1% 50.4% 35.8%	39.1%	37.5%	55.1%以下
法定耐用年数超過管路率(B503)	11.0%	11.6%	12.4%	12.6%	17.5%以下	23.6% 26.1% 13.0%	14.3%	16.6%	25.0%以下
管路の更新率(B504)	0.87%	0.95%	1.29%	0.75%	1.0%	1.03%	1.10%	0.74%	1.3%

漏水率（B110）とは、年間配水量に対する漏水量の割合を表す指標であり、低い方が良い。

法定耐用年数超過設備率（B502）とは、電気・機械設備などの総数に対する法定の耐用年数を超えた数の割合を表す指標。この値が大きいほど古い設備が多いこととなりますが、使用の可否を示すものではなく、安定給水に向けて計画的に設備の更新を実施しているかを表す。

法定耐用年数超過管路率（B503）とは、管路の総延長に対する法定の耐用年数を超えた延長の割合を表す指標。使用の可否を示すものではなく、安定給水に向けて計画的に管路の更新を実施しているかを表す。

管路の更新率（B504）とは、管路の総延長に対する年間の更新延長の比率を表す指標。この値の逆数は、現在のペースで全ての管路を更新するのに必要な年数を示す。

5



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城

3) 施策目標：公民連携の強化と人材の育成

○公民連携の強化

令和5年4月から窓口業務を民間事業者へ業務委託を開始

- ・主な業務：窓口受付業務、検針業務、開閉栓業務、調定収納等業務、滞納整理業務、給水停止業務等
- ・主な効果：開閉栓繁忙期の作業員増員等の柔軟な業務運営
長期滞納者の減少
災害発生時における民間事業者の協力
検針時の高齢者への見守り協力

○人材育成

日本水道協会や西三河水道事業連絡協議会等の各種研修会を受講し、他水道事業体との情報交換、技術習得を実施

4) 施策目標：水道サービスの向上

○安全で安心な安城市の水道水に関する理解度・周知度の向上を目的にASF等の広報活動を実施

○給水装置工事の申請から完了まで24時間手続きが可能な給排水工事オンライン申請システムを導入



基本理念

「未来につづく安全・安心な水をめざして
～健やかで幸せな生活をささえ続ける安城の水～」
を踏まえた基本方針

基本方針

- ・ 持続：暮らしを支え、信頼され続ける水道
- ・ **安全**：安全で安心して使える水道
- ・ 強靱：災害に強く、安定供給ができる水道

基本方針

施策目標

安全

安全で安心して使える水道

水源及び水質の安全性確保の充実



1) 施策目標：水源及び水質の安全確保の充実

業務指標	H 3 0 実績	R1実績	R2実績	R3実績	中間R4 目標値	R4実績	R5実績	R6実績	目標(R9)
平均残留塩素濃度	0.5mg/L	0.5mg/L	0.5mg/L	0.5mg/L	0.5mg/L以下 (0.1mg/L以上)	0.5mg/L	0.4mg/L	0.5mg/L	0.5mg/L以下 (0.1mg/L以上)

・平均残留塩素濃度とは、水道水の安全性及び塩素臭発生に与える影響を表す指標です。
水道法で、残留塩素は給水区域の末端においても0.1mg/L以上を満たすことが必要です。

・一方で、塩素臭の発生を減少させるためには残留塩素濃度0.1mg/Lを確保した上で、なるべく小さな値にすることが望ましいとされています。



基本理念

「未来につづく安全・安心な水をめざして
～健やかで幸せな生活をささえ続ける安城の水～」
を踏まえた基本方針

基本方針

- ・ 持続：暮らしを支え、信頼され続ける水道
- ・ 安全：安全で安心して使える水道
- ・ **強靱**：災害に強く、安定供給ができる水道

	基本方針	施策目標
強 靱	災害に強く、安定供給ができる水道	水道施設の耐震化
		危機管理体制の強化



1) 施策目標：水道施設の耐震化

上段：全国平均
中段：愛知県平均
下段：安城市水道事業

業務指標	H 3 0 実績	R1実績	R2実績	R3実績	中間R4 目標値	R4実績	R5実績	R6実績	目標(R9)
浄配水施設の耐震化率	65.6%	65.6%	69.7%	69.7%	75.0%	75.8%	75.8%	75.8%	75.0%
管路の耐震管率 (B605)	33.2%	34.2%	35.6%	36.4%	37.8%	19.8% 24.2% 37.4%	38.5%	39.3%	43.8%

・浄配水施設の耐震化率とは、浄配水場の主要施設（配水池、ろ過機、混和池、濃縮槽、水源、井戸）等の総数に対する耐震化された施設の割合を表す指標。
震災時にも安定的な浄水処理及び配水ができるかを示し、高い方が良い。

・管路の耐震管率（B605）とは、管路の総延長に対する耐震管距離の割合を表す指標。
水道事業者が管路の耐震化を実施して、震災時においても安定的な水の供給ができるかどうかを示すものであり、高い方が良い。



2）施策目標：危機管理体制の強化

業務指標	H 3 0 実績	R1実績	R2実績	R3実績	中間R4 目標値	R4実績	R5実績	R6実績	目標(R9)
自己保有水源率 (B101)	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%
基幹管路の事故割合 (B205)	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km

自己保有水源率（B101）とは、全水源水量に対する水道事業者が管理している水源水量の割合であり、この割合が高いほど取水の自由度が大きいことを示す。

基幹管路の事故割合（B205）とは、基幹管路100km当たりの年間事故件数を表す指標であり、低い方がよい。



11



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**